

皆さま、こんばんは。

日ごろは協議会活動にご協力を賜り誠に有難うございます。

安全衛生協議会会長、株式会社アストルアークの中谷剛です。

仕事と人生には3つの坂があるといます。1つ目は上り坂、万事好調で何をやってもうまく行く時。2つ目は下り坂、不調に陥って思い通りにならない時。そして、3つ目の坂、これは、まさかという坂です。このまさかの坂は急に出現します。巧妙な落とし穴のように油断しているときに突然出現する坂です。よく昔の人は、一寸先は闇と言います。人生の好調な時、上り坂の時にまるでエアポケットに入ったようにまさかの坂が出現し、奈落の底に突き落とされたりします。また下り坂の時に、追い打ちをかけるようにまさかの坂が現れて、これでもかという具合に決定的なダメージを与えてしまうことがあります。

過去の日本の歴史を振り返ると、天正10年。最大の脅威だった甲斐の武田氏を滅ぼし天下統一に邁進する織田信長は、続いて中国・四国地方の制圧に本格的に着手しました。しかし、出陣を前に貴族との会合のため京都に向かったところ、宿舎である本能寺を襲撃され、まさかの落命となります。襲ったのは明智光秀。信長にとっては秀吉と共に最も信頼を置いていた家臣でした。幾度となく危険な戦場を生き延びてきた信長にとっては、ここで家臣の手に落ちることになるとは夢にも思っていなかったことでしょう。

このような歴史的人物でなくても、日常の私たちの仕事と人生にも、急に「まさかの坂」が出現します。この業界の労働災害もまさに「まさか」の連続ではないでしょうか。「まさかあんな簡単な作業でケガをするなんて」「まさかこんな所で足を踏み外すなんて」など、まさかの坂の例は枚挙に暇がないほど付きまといまいます。まさかは予測不可能で防ぐのは大変難しいが故に、自分自身が対策を考えて実行しなくてはなりません。労働災害が発生する直接の原因は「不安全な状態」と「不安全な行動」によって大別されることはよく知られていますが、厚生労働省の統計によると各業種において例年休業4日以上死傷災害の9割以上に「不安全な行動」が認められています。「うっかり」「ぼんやり」「勘違い」などは人間が持つ特有のミスです。このミス、すなわちヒューマンエラーは統計によると災害のほとんどに関わっていると言われていています。「ちょっと気をつけていればよかった」「まさかこんなことになるなんて」という経験は誰もが持っているでしょう。「まさかの坂」を出現させないためにも毎日のKY活動は欠かせないものです。KY活動とはみなさんは既にご存知のことと思いますが、危険・予知の頭文字をとってKY活動と言います。KY活動をすることによって、作業現場で起こりうる労働災害を未然に防ぐために、リーダーを中心に作業チームで話し合うことで、危険に関する感受性を高めます。より安全に作業を行う訓練でもあり、チームの一人ひとりが自分の事としてとらえ

責任感を持って現場に臨むことが期待されます。ただ単に気をつけていれば良いということではないのです。労働災害は社会的な損失を生み出します。すべきことをしなかなただけで、自分だけでなく一緒に働く仲間の命さえ奪いかねません。誰もが災害という忌まわしい出来事に遭わないためにも安全のルールを守り作業を行ってください。

去年は観測史上4番目に暑い夏で、もう猛暑とか酷暑といった表現では生ぬるく、殺人的な暑さ「殺暑」と呼んでも良いくらいの暑さでした。なぜ日本はこんなに暑くなってしまったのか。昔も直射日光を受けると汗はかくが、今ほど体感温度は高くなく、何よりこれほど体力を消耗することはなかったように思えます。地球温暖化のせいで日本の気候が熱帯化しているという説もありますが、まだ解明されていません。原因がよく分からないまま、今年も、来年も、また再来年以降も夏の猛暑に苦しめられることを覚悟しながら自己防衛を高めて頑張っていきましょう。

ご安全に！